

大山祇神社

法樂連歌

上

愛媛大學
古典叢刊

3

愛媛大学
古典叢刊 3

大山祇神社

法樂連歌

刊行のことば

愛媛大学国語国文学研究室においては、創立以来地方の文学資料についても調査研究を進めてきた。

二十周年を経た今日、県下に埋もれた貴重な文献資料がなお数多くあるので、これを複製刊行し、広く学界の要望に応えることとする。

諸賢のご協力をお願いしたい。

大山祇神社 法楽連

昭和四十五年十月一日

編者

発行者

印刷所

愛媛大学
株式会社

790 松山市文京

愛媛大学法文

発行所 愛媛大学
古

凡 例

一、本書は、大山祇神社に奉納せられ、現在同社宝物館に保存されている法楽連歌二八〇余卷（愛媛県指定文化財）を、年代順に収載したもので、文安から天文年代までの連歌である。ただし、文明十四年万句連歌五二卷は省いた。

一、各懐紙のはじめに、張行の年月日、種類をあげ、懐紙の表を上欄に、裏を下欄に、一折を一ページに収めた。

一、初折表は「初オ」、初折裏は「初ウ」とし、以下二オ（二折表）、二ウ（二折裏）、三オ（三折表）、三ウ（三折裏）、名オ（名残表）、名ウ（名残裏）と、六ボで略記した。

一、欠損・破損の程度や薄墨の場合なども、（ ）内に略記した。

一、懐紙の大きさは大小あるが、その寸法や全卷の解説については、弘治から寛文の連歌を集載した後に掲げる。

大山祇神社 法樂連歌 上 目次

一、文安二年（三月）十八日	夢想百韻……………	1
二、文安頃	千句	
	第七 二字返音 （小破）……………	5
	第八 何路……………	9
	第九 青何（小破）……………	13
	第十 朝何……………	17
三、長祿三年十二月	千句	
長祿三年十二月二日	第一 山何……………	21
十二月二日	第二 何人……………	25
十二月二日	第三 初何……………	29
十二月三日	第四 何木……………	33
十二月三日	第五 何路……………	37
	（第六 欠）……………	
十二月四日	第七 何鳥……………	41
十二月四日	第八 何舟……………	45
十二月四日	第九 何田……………	49
十二月五日	第十 岩何……………	53
（追加？）	山何（初折二十二句）……………	57
長祿 千句 寄合	第一、第十……………	58
同 千句 句上	第一、第十……………	63

四、文明十二年卯月 千句

文明十二年卯月十日

第一	夢想……………	68
第二	何人……………	72
第三	何路（名残欠）……………	76
第四	何木（名残欠）……………	79
（	何水（破損）……………	82
第八	露頭一字……………	86
第九	何田……………	90
第十	白何……………	94

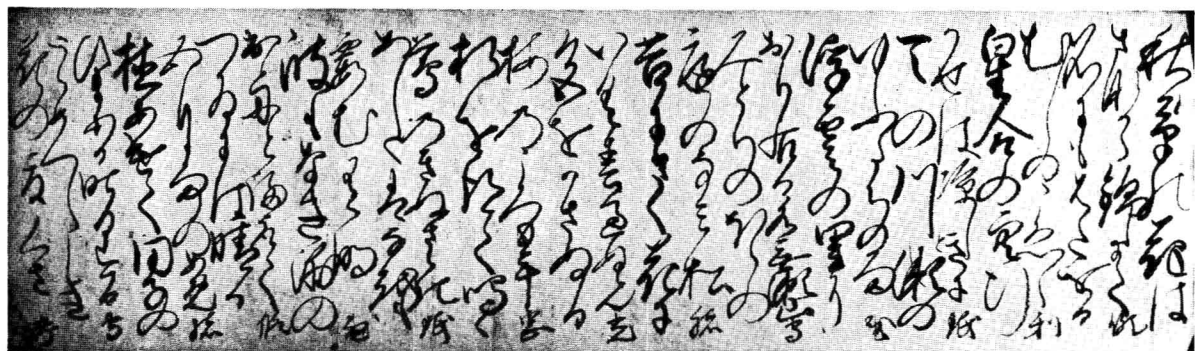
五、文明十五年三月 千句 三嶋法樂

第一	山河……………	98
第二	何舟（小破）……………	102
第三	中略三字……………	106
第四	白何……………	110
第五	何路（小破）……………	114
第六	何風……………	118
第七	返音二字……………	122
第八	片何……………	126
第九	何木……………	130
第十	何人……………	134
（追加？）	何路……………	138

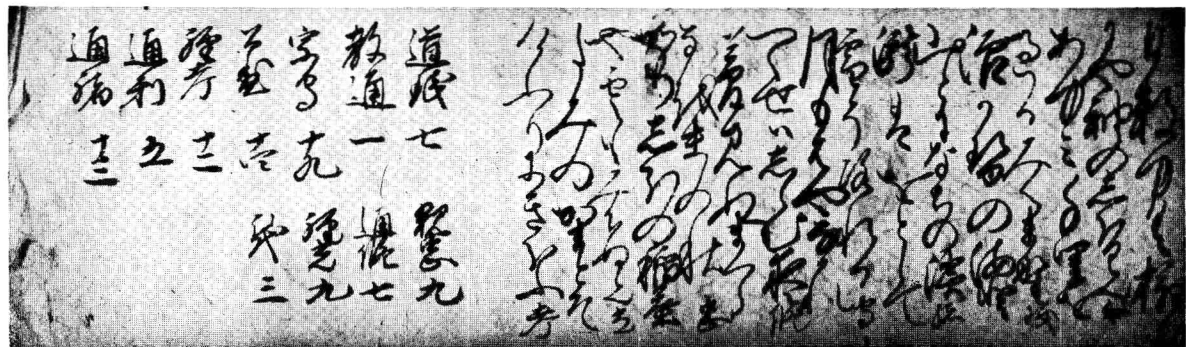
文明十五年三月二日

平野法樂

文明十五年 千句 句上 第一ノ第十	139
六、永正元年十二月十日 何人百韻	144
七、大永五年卯月十五日 何路百韻	148
八、天文十四年三月吉日 何路百韻	152
九、天文十四年三月廿三日 何木百韻	156
一〇、天文十四年十一月十八日 何船百韻	160
一一、天文十七年卯月吉日 山何百韻 (初折 二折のみ)	164
一二、天文十八年卯月吉日 夢想世吉	166
一三、天文十八年卯月吉日 何路百韻	168
一四、天文十八年四月吉日 何船百韻	172
一五、天文十八年卯月廿日 玉何世吉 (一折破損)	176
一六、天文十八年十一月廿三日 何路百韻	178
一七、天文十九年二月吉日 何人百韻	182
一八、天文十九年卯月吉日 何袋百韻 (初折 二折)	186
一九、天文十九年卯月廿三日 何人百韻	188
二〇、天文十九年十一月吉日 何路百韻	192
二一、天文廿年三月□□ 何木 (小破 初折のみ)	196
二二、天文廿三年十月吉日 夢想百韻	197

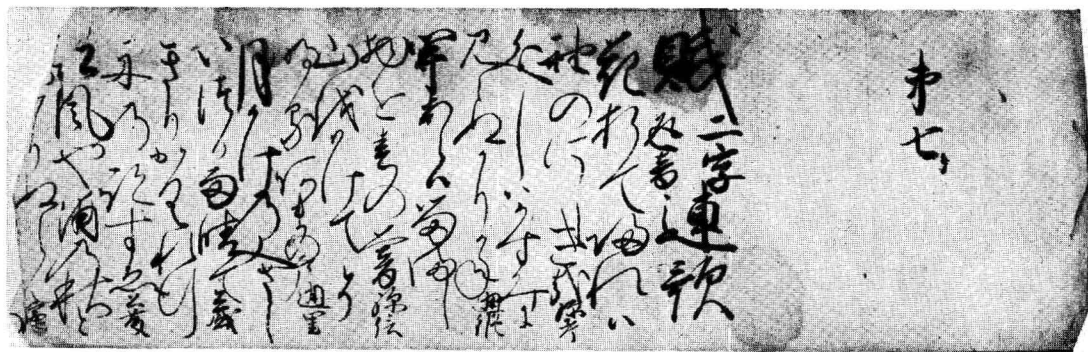


名才

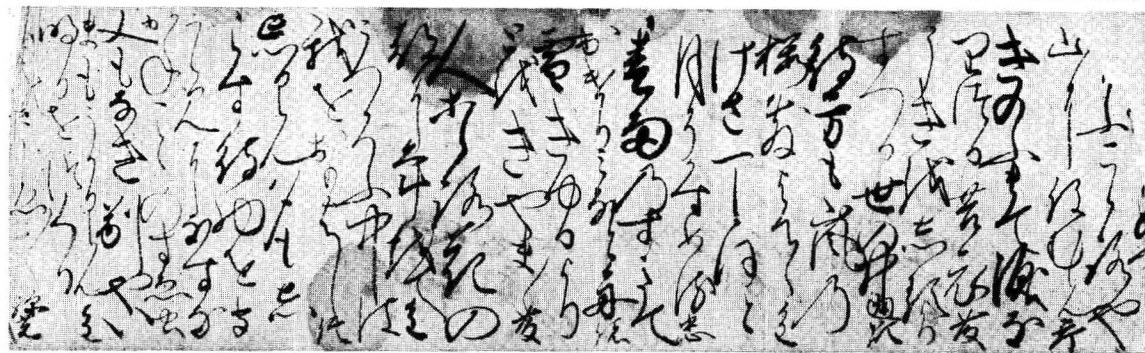


名ウ

中七



(左二行破損)



(右二行破損)

二才

[illegible][illegible]

